実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「他の人が作ったものを大切にしよう」	
キーワード	著作権ってなあに？	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	B 3：情報に関する自分や他社の権利を尊重する。 C 3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	B 3 - 1：情報にも自他の権利があることを知り、尊重する。 C 3 - 1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	著作権について正しく理解し、他人が作ったものを大切にすることができる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶNetモラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1. 自分が考えた絵を友だちにまねされた時 どんな気持ちがあったか経験を振り返る。 2. 映像クリップを見る。	・ 日常生活と映像クリップを、重ねて考えられるようにする。
展開	3. 「みかがかいたピーチくん」について意見を出し合う。 4. チェック問題に取り組み、著作権を理解する。	・ せっかく考えたオリジナルのマークを勝手にコピーしていることへの問題点について考える。
おわり	5. まとめの映像を見て、振り返りをする。	インターネット上に公開されているものや、他人が考えたものを大切にすることについて、理解を深めたか。

授業の成果

- ・ 絵やマークなど、自分で思いつかない時に既存の著作物を写したりコピーしたりすることは子どもたちの日常の中でありがちなことである。本時ではこの問題点について切り込んで学ぶことができた。

指導のポイント・留意点

- ・ 映像クリップと自分たちの普段の生活を重ねて考えることが大切である。
- ・ 5年生の段階では、「法律」という概念を学習していないため、道徳的な心情にひきあわせて指導することが大切である。